# 議案第 11 号

小城市立学校施設の利用に関する規則の一部を改正する規 則

小城市立学校施設の利用に関する規則(平成 17 年小城市教育委員会規則第 20 号)の一部を改正する規則を別紙のとおり提出する。

令和元年8月22日提出

小城市教育委員会 教育長 大野 敬一郎

## 提案理由

消費税及び地方消費税の税率の改正に伴い、小城市立学校施設の利用に関する規則の一部を改正する必要がある。

これが、本議案を提出する理由である。

#### 小城市教育委員会規則第 号

小城市立学校施設の利用に関する規則の一部を改正する規則

小城市立学校施設の利用に関する規則(平成 17 年小城市教育委員会規 則第 20 号)の一部を次のように改正する。

別表を次のように改める。

### 別表 (第7条関係)

区分	施設使用料	照明使用料
	(2時間当たり)	(2時間当たり)
体育館	571円	190円
武道場	380円	190円
運動場	190円	
特別教室	190円	190円

#### 備考

- 1 施設使用料及び照明使用料には、それぞれ算出した額に消費税法(昭和63年法律第108号)に定める消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方税法(昭和25年法律第226号)に定める地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額(以下「消費税相当額」という。)を加えた額とする。
- 2 市外団体の使用料は、この表に定める額の2倍に相当する額とし、それぞれ算出した額に消費税相当額を加えた額とする。ただし、主催者及び利用者の半数以上が小城市内に住民登録がある場合は、市内団体とみなす。
- 3 前2項の規定により算出した額に10円未満の端数が生じたときは、その端数金額を切り捨てるものとする。
- 4 利用時間は、準備及び利用後の整理、原状回復等に要する時間を含むものとする。

附則

(施行期日)

- 1 この規則は、令和元年 10 月 1 日から施行する。 (経過措置)
- 2 改正後の小城市立学校施設の利用に関する規則別表の規定は、この 規則の施行の日以後に受ける使用料について適用し、同日前に受けた 許可に係る使用料については、なお従前の例による。

議案第11号 小城市立学校施設の利用に関する規則(平成17年小城市教育委員会規則第20号)の一部を改正する規則 新旧対照表

	現行			改正後 (案)	
別表 (第7条関係)			別表(第7条関係)		
区分	施設使用料	照明使用料	区分	施設使用料	照明使用料
	(2時間当たり)	(2時間当たり)		(2時間当たり)	(2時間当たり)
体育館	600日	200日	体育館	571円	190円
武道場	400円	200日	武道場	380円	190日
運動場	200日		運動場	190日	
特別教室	200日	200円	特別教室	190日	190円
備考			備考		
			1 施設使用料及	施設使用料及び照明使用料には、それ・	それぞれ算出した額に消費税
			法(昭和63年注	法(昭和63年法律第108号)に定める消費税の税率を乗じて得た額	!税の税率を乗じて得た額
			及びその額に批	及びその額に地方税法(昭和25年法律第226号)に定める地方消費	226号) に定める地方消費
			税の税率を乗し	税の税率を乗じて得た額を合算した額(以下「消費税相当額」	以下「消費税相当額」と
			いう。)を加えた額とする。	た額とする。	
1 市外団体の使用料は、		この表に定める額の $2$ 倍に相当する額 $\underline{b}$	2 市外団体の側	市外団体の使用料は、この表に定める額の2倍に相当する額 <mark>と</mark>	額の2倍に相当する額 <u>と</u>
+ 2°		ただ	し、それぞれ算	それぞれ算出した額に消費税相当額を加えた額とする。	を加えた額とする。ただ
し、主催者及び	し、主催者及び利用者の半数以上が小城市内に住民登録がある場	<b>ゴ内に住民登録がある場</b>	し、主催者及び	し、主催者及び利用者の半数以上が小城市内に住民登録がある場	市内に住民登録がある場
合は、市内団体とみなす。	Kとみなす。		合は、市内団体とみなす。	ことみなす。	
			3 前2項の規定	前2項の規定により算出した額に10円未満の端数が生じたとき	末満の端数が生じたとき
			は、その端数金	その端数金額を切り捨てるものとする。	°
2 利用時間は、	準備及び利用後の整理、	原状回復等に要する時間	4 利用時間は、	準備及び利用後の整理、原状回復等に要する時間	原状回復等に要する時間
を含むものとする。	. 2°		を含むものとする。	-2°	